

アンケート結果の概要

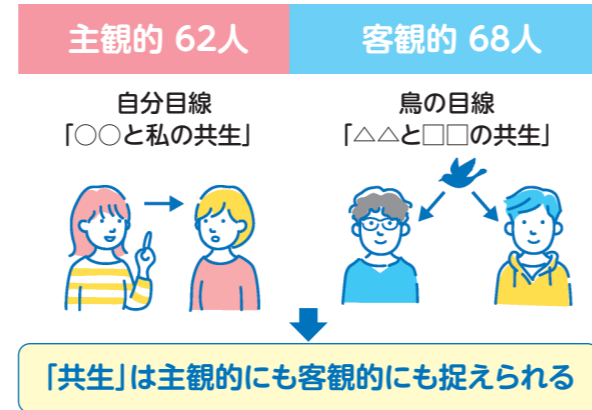
テーマの種類

- 「マイノリティとマジョリティの共生」
- 「自然と私との共生」
- 「お隣のお子さんと息子との共生」
- 「他者と私の共生」
- 「地域と私との共生」
- 「心が辛い人と私との共生」
- 「支える人と支えられる人の共生」
- 「障がいを持つ我が子とそのまわりの方々と共生」
- 「ご近所のおばあさんと私との共生」
- 「苦手な人と私との共生」
- 「旧住民と新住民との共生」
- 「外国人とわたしとの共生」
- 「視覚言語と音声言語の共生」
- 「個性と個性の共生」
- 「私と家族の共生」
- 「考えが違う人との共生」
- 「職場の人と私との共生」

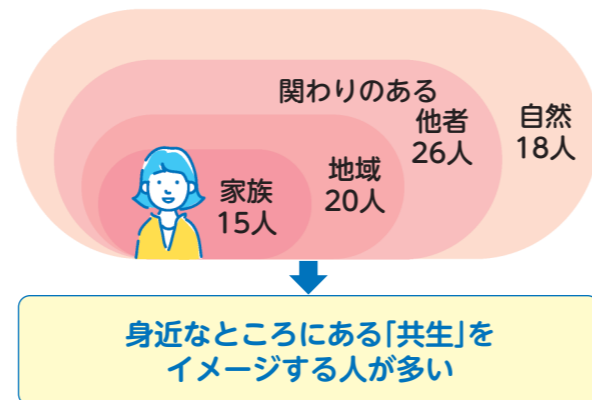
…など、多様な共生のテーマが挙がりました。
「共生」と聞いて、それぞれ思い描くものは違います。

テーマの分類

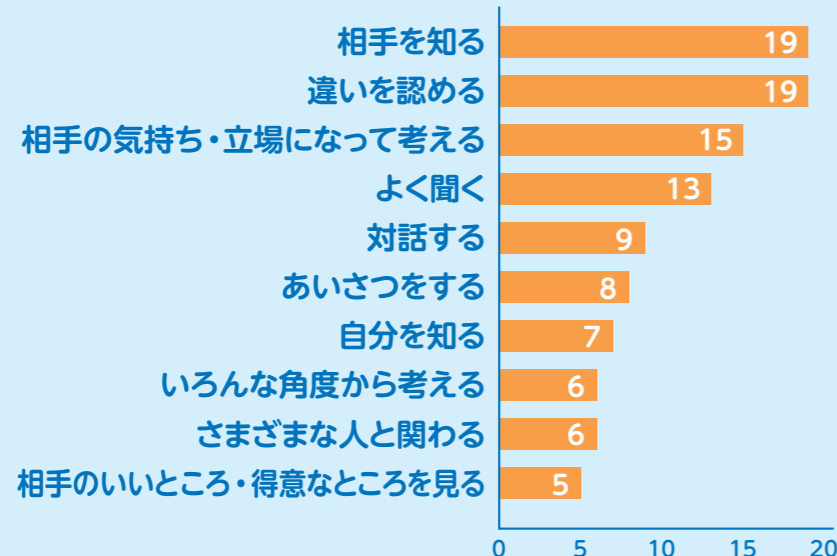
主観的？客観的？



「共生」のスケール感



ワンアクションの内容TOP10

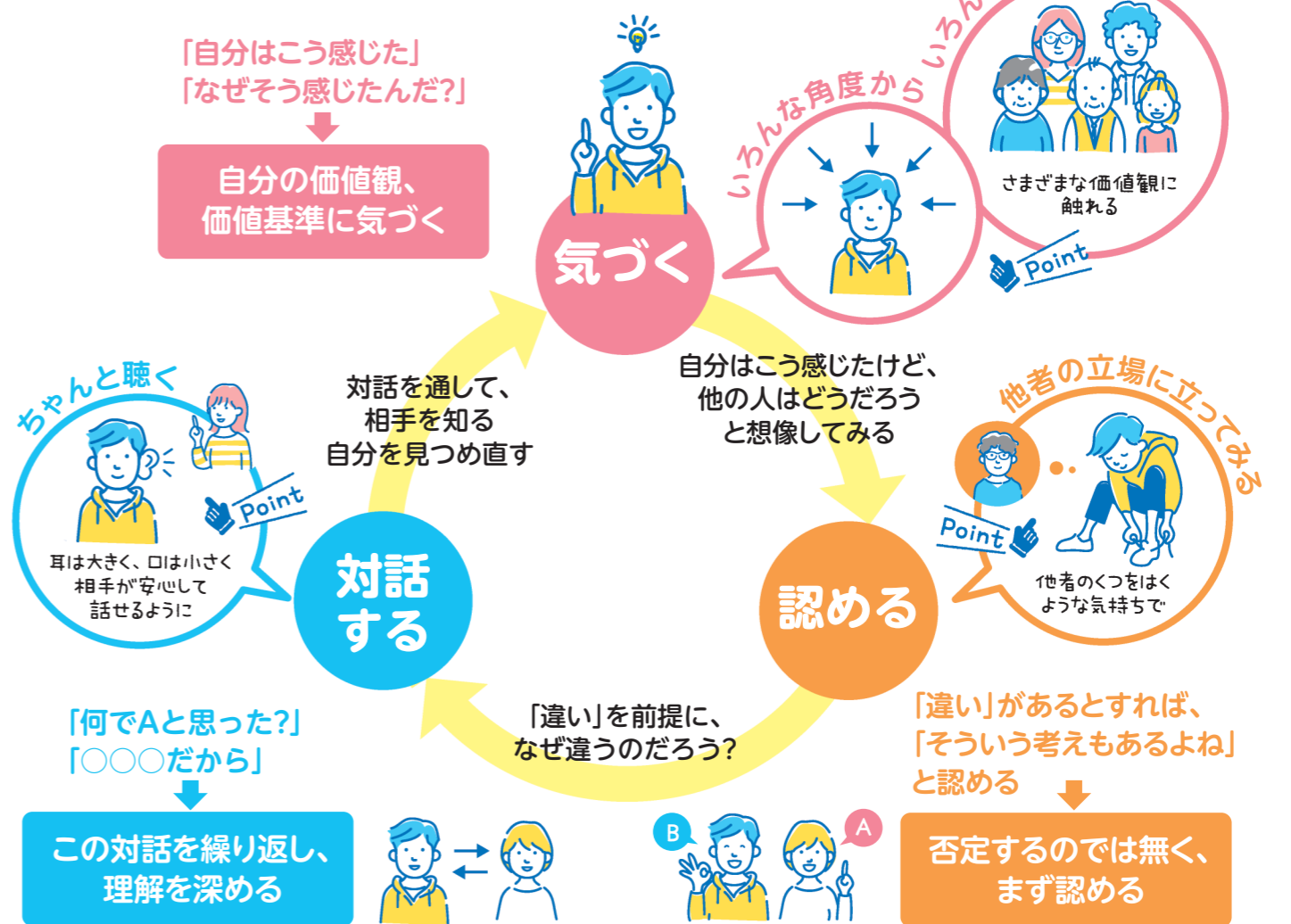


どんなものとの共生を考える上でも、重要そうな内容

エピソードなど、アンケート回答の詳細は、市HPからご覧いただけます。



アンケートなどから見えてきた、「共生のまち」に向けて大切にしたいこと



- 気づく** いきなり正解を探すのではなく、まずは「自分はこう感じた」と自分の価値観、価値基準に気づく。
- 認める** その上で、誰かとの違いがあれば「そういう考えもあるよね」と認める。
- 対話する** そして、なぜ私とあなたは違うのか、そのズレを確認するために対話する。

このサイクルによって、相手を知り、自分を見つめ直すことにつながり、共生しやすくなるのではないのでしょうか。「共生のまち」とは、こうした行動を絶え間なく繰り返していきやすいまちのことかもしれません。みなさんも身近なところから「共生」について考え、まわりの人と話し合ってみませんか。

「私はこう考える」「読んでこう感じた」など、あなたの声をぜひお寄せください。

